

胃カメラの検査を受けられる方へ

食事

検査前日、夜 9 時までにはふだん通りの食事で結構ですが、**夜 9 時以降は絶食**して下さい。

朝食は食べないで下さい

水分は検査2時間前までは透明なもの(水、お茶、ポカリスエットなど)は飲んでもかまいませんが、にごりや色のあるもの(牛乳、コーヒーなど)は飲まないで下さい。

飲み薬

血圧を下げるお薬を飲まれている方は、朝早めに(6時～7時の間に)いつもどおりに内服してください。

糖尿病で血糖を下げるお薬を飲まれている方は、カメラの当日朝の血糖を下げるお薬をお休みください。(朝食絶食に伴う低血糖を防ぐためです)

脳梗塞・心臓病などで、抗凝固薬や抗血小板薬(血をさらさらにするお薬)を飲まれている方はお申し出下さい。

血をさらさらにするお薬を飲んでいる場合でも胃カメラは問題なくできますが、異常があった時に組織を取る検査(生検)をする際に十分な注意が必要となります。

血をさらさらにするお薬を飲んでいる方は、鼻からのカメラはできません。

胃カメラと一緒に腹部エコーも予約されている方は予約時間の1時間前から排尿をがまんしてください(膀胱をふくらませることにより、前立腺や子宮などの下腹部の臓器を観察しやすくするためです)。

検査の偶発症、合併症

鎮静剤を使って内視鏡した場合はふらついたりすることがありますので車やバイク、自転車での来院は避けて下さい。

胃カメラにて潰瘍やポリープがあれば、診断のために胃の組織を取り、顕微鏡で見る検査を行うことがあります。特に痛みはありませんが、胃の粘膜を少し傷つけますので、まれには出血が起こることがあります。

ごくまれに麻酔の薬や鎮静剤で体調が悪くなることがあります。

鼻からのカメラを行ったときは約1－2%の方に鼻血がでることがありますが、ほとんどの場合は数分で自然に止まります。

いずれの場合でも状況に応じて適切に対処いたします。